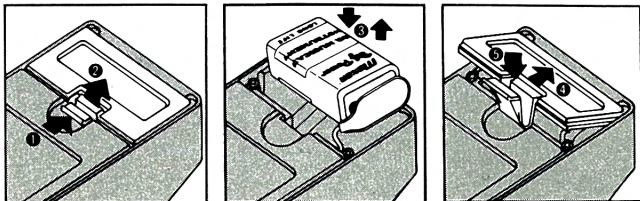


電池の交換

- この製品はS-006Pタイプ(9V)の電池を1本使用しております。
- 電池の交換は以下の手順に従って行なって下さい。

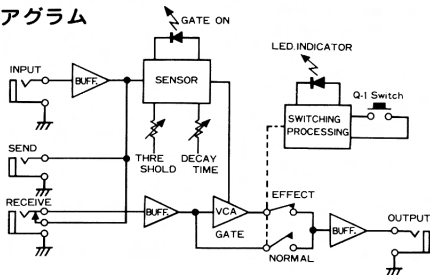


1. バッテリー・カバーをOPEN方向に押し(①)、上に開き上げます(②)。
2. 電池を③に従って入れ換えます。この時バッテリー・スナップと電池の接続が確実であること、電池の方向に注意して下さい。
3. バッテリー・カバーをケースの溝にはめ込み(④)、“カチッ”と音がするまで押し込んで下さい(⑤)。

取扱い上の注意

- 電池を長持ちさせるため、使用しない時はインプット・ジャックからプラグを抜いて下さい。
- 長期間使用しない時は、電池を抜き取って下さい。
- LEDが暗くなったり、点灯しない時は、電池の電圧低下を意味します。このような場合効果が弱くなったり、音が歪んだりしますので、早めに電池を交換して下さい。
- ACアダプターは必ずマクソンAC-109をお使い下さい。(指定外のものをご使用になるとトラブルの原因になります。)
- 操作上必要なもの以外の止めネジ類には、触れないで下さい。

ブロックダイアグラム



主な規格

最大入力レベル	+6dBm at 400Hz (THD 1%)
入力換算ノイズ	-100dBm (HF-A イン プット・ショート)
周波数特性	20Hz to 9KHz (+1, -3dB)
スレッシュホールド・レベル	0 to 7.75mV (-40dBm)
ディケイ・タイム	20msec to 1.7sec (-6dB)
インプット・インピーダンス	1MΩ
アウトプット・インピーダンス	10KΩ 以下
センド・インピーダンス	10KΩ 以下
レシーブ・インピーダンス	510KΩ
電 源	電池・S-006P(9V)1本又は AC・アダプターAC109
消費電流	8.5mA/DC9V(エフェクト時)
寸 法	124(D)×74(W)×53(H)
重 量	580g(電池を含む)
オプション	AC・アダプター「AC109」¥1,500

※ 規格及び外観は改良の為予告なく変更することがあります。

Maxon®

株式会社 日伸音波製作所

Noise Gate NG-9

マクソンは、新しい時代の要求と皆様のご意見を反映した製品を常にお届けできるように心掛けております。マクソンの魅力を十分に引き出すためにも、ご使用前にこの説明書をご一読ください。

取扱説明書

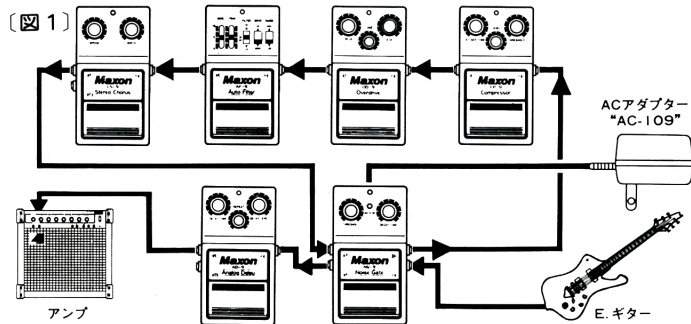
OWNER'S MANUAL

特長

- スレッシュールド・レベル (THRESHOLD) とディケイタイム (DECAY TIME) の2つのコントロールを装備し、極く小さなノイズまで自然に音がフェードアウトする感じでカットできます。
- ゲートオン (GATE ON) インジケータの装備により、スレッシュールド・レベルとディケイタイムを簡単に調節できます。又、動作状態を常に目でチェックできます。
- センサー (SENSOR) 部とゲート (GATE) 部に独立した入出力ジャックを装備し、接続するエフェクターの台数やノイズレベルの大小にも左右されず確実なノイズカットができる新しいタイプのノイズゲートです。
- 新開発の大型“Q-1”電子スイッチの採用により、ノーマル/エフェクト切替のクリックノイズをシャットアウトしました。
- 電池交換は画期的なワンタッチ式です。ドライバーやコインを用いずに簡単にこなせます。
- LEDインジケータの装備により、ノーマル/エフェクトとバッテリーコンディションのチェックができます。
- 垂鉛ダイキャストケースとゴムストッパーの採用により、コンパクトサイズながら、操作時の安定性に優れています。

接続方法1 (センサー部とゲート部をセパレートで使用する場合)

- ①インプット (INPUT) ジャックにE・ギターやE・ベースギター等の楽器を接続します。(インプットジャックにプラグを差し込むと、自動的に電源が入ります。)
- ②アウトプット (OUTPUT) ジャックにアンプを接続します。
- ③ノイズゲートのセンド (SEND) ジャックと最前段のエフェクターのインプットジャックを接続します。
- ④エフェクターを複数接続する場合は、各々のエフェクターのインプットとアウトプットを接続します。
- ⑤ノイズゲートのレシーブ (RECEIVE) ジャックと最終段のエフェクターのアウトジャックを接続し、センド、レシーブ箇所をループにします。
- ⑥アナログディレイを接続する場合、リピートを長くセットする時は図1示す位置に接続してください。(この場合はアナログディレイにノイズゲートは働きません。ループ内に接続した場合は、リピート音が短くなります。)



接続方法2

- ①最前段のエフェクターのインプットジャックとE・ギターやE・ベースギター等の楽器を接続します。
- ②エフェクターを複数接続する時は、図2に示す様に各々のインプットとアウトプットを接続します。
- ③ノイズゲートのインプット (INPUT) ジャックと最終段のエフェクターのアウトプットジャックを接続します。
- ④ノイズゲートのアウトプット (OUTPUT) ジャックとアンプを接続します。
- ⑤アナログディレイを接続する場合、リピートを長くセットする時は図2で示す位置に接続します。
- ⑥センド (SEND) /レシーブ (RECEIVE) ジャックには、何も接続しないでください。

各コントロールの説明と使い方

1 スレッシュールド (THRESHOLD) ノイズゲートのゲートオン/オフの動作レベルを調節するつまみです。右に回すほどスレッシュールドレベルが高くなり、大きなノイズ信号レベルで動作します。

a) 接続方法1の調節のしかた

E・ギター等の楽器のレベルを演奏時と同レベルにセットし、DECAY TIMEつまみを左いっぱい、THRESHOLDつまみも左いっぱい、次に楽器を弾いて音を一度出した後、楽器の音を止めて、THRESHOLDつまみを徐々に右に回し、GATE-ONのLEDが消灯する位置にセットします。ループ内のエフェクター及びノイズゲート以後に接続したエフェクターのつまみのセッティング及びノーマル/エフェクトはこの調節には全く関係ありません。

b) 接続方法2の調節のしかた。

E・ギター等の楽器のレベル及びノイズゲート以前に接続してあるエフェクターのつまみのセッティングとノーマル/エフェクトを演奏時と同じにセットし、DECAY TIMEつまみを左いっぱい、THRESHOLDつまみも左いっぱい、次に楽器を弾いて音を一度出した後、楽器の音を出さない状態にし、THRESHOLDつまみを徐々に右に回しGATE-ONのLEDが消灯する位置にセットします。

- ②ディケイタイム (DECAY TIME) ノイズゲートがオフになる時の音がフェードアウトする時間を調節するつまみです。右に回すほどフェードアウトの時間は長くなります。楽器を弾いて音を出し、短か過ぎて楽器のサスティーンが終る寸前で音が消えぬ様、又長過ぎてノイズ音が出ない様な位置にセットします。このフェードアウトの様子はゲートオンのLEDの消灯のしかたでもチェックできます。(ディケイタイムが短い場合は、LEDが早く消え、長い場合は徐々に消えて行きます。)
- ③ゲートオン (GATE-ON) ゲートオン/オフのLEDインジケータです。ゲートオンの時に点灯、オフの時に消灯します。(ノーマル/エフェクト関係なく動作します。)
- ④ノーマル/エフェクトインジケータ フットスイッチでエフェクトにセットされた時に点灯します。フットスイッチを切替えた時、インジケータが暗かったり点灯しない時は電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。
- ⑤エフェクト/ノーマルの切替は、フットスイッチの足踏操作によって行ないます。

〔図2〕

